

平成 28 年度第 1 回木更津市郷土博物館金のすず協議会会議録

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 9 日 (月) 午後 2 時 30 分～ 4 時
- 2 場 所 木更津市郷土博物館 金のすず 多目的室
- 3 出席委員 委員長 中村哲委員長
委 員 藤浪弘美委員、圓谷加陽子委員、住沢武美委員
高橋めぐみ委員 (荻野敬次委員欠席)
- 4 出席職員 高澤茂夫教育長、堀切由彦教育部長、山口玲子文化課長
石井館長、半澤副館長、稲葉副主幹、井上副主幹、
伴主査、多田主事
- 5 傍聴人数 0 名
- 6 委嘱状交付 住沢武美氏に委嘱状交付
- 7 議 事
 - (1) 報告 1 平成 27 年度下半期事業報告について
 - (2) 議題 1 平成 28 年度事業計画について
 - (3) その他
- 8 企画展見学 企画展「何だコリャ?～形から入る考古学～」

9 議事内容

事務局(稲葉)： 定刻より多少前ではございますが、ただいまより、平成 28 年度第 1 回「木更津市郷土博物館金のすず協議会」を開催いたします。

今回、3 月 31 日付で関口委員が退任いたしましたので、新たに委員として、木更津第一中学校校長の住沢武美氏に委員をお願いすることになりました。

これより委嘱状の交付を行ないます。

～教育長から委嘱状交付、介添 石井館長～

事務局(稲葉)： それでは、住沢委員より自己紹介をお願い致します。

住沢委員： 木更津第一中学校の住沢と申します。他県出身ですが、私、木更津がとっても住みよくて、骨を埋める覚悟で木更津の為に一生懸命やりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局(稲葉)： 本日は、荻野委員がご欠席でございます。また、後ほど圓谷委員も出席される旨、連絡を受けております。現在はまだ来られておりませんので、6 名中 4 名のご出席をいただいております。「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則 第 8 条」により、半数以上の委員のご出席が確認されておりますので、会議は成立しております。

また、「木更津市審議会等の会議公開に関する条例第 3 条」に基づき、本会議は一般公開となっておりますが、傍聴人は 0 人です。

それでは会議開催にあたり、木更津市郷土博物館金のすず協議会の中村委員長に、ご挨拶をお願いいたします。

中村委員長： ～挨拶～

事務局(稲葉)： 続きまして、高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

高澤教育長： ～挨拶～

事務局(稲葉)： ここで高澤教育長、堀切教育部長、山口文化課長におかれましては、この後の公務の都合により、ここで退席させていただきますので、ご了承くださいますようよろしくお願いいたします。

それでは、総会次第によりまして議事に入らせていただきますが、運営規則により中村委員長に議長をお願いいたします。

中村委員長： それでは議事の方に入りたいと思います。まず始めに報告といたしまして「平成27年度下半期事業報告」、事務局の方からお願いします。

半澤副館長： ～平成27年度下半期事業報告～

それでは、金鈴塚古墳共同研究につきまして、先ほど申し上げましたけれども、稲葉副主幹(学芸員)から詳細についてのご説明を申し上げます。

事務局(稲葉)： ～金鈴塚古墳共同研究の報告～

中村委員長： 有り難うございました。ただ今の事務局のご説明に対して、ご意見ご質問はございますか。ちょっといいですか。これ、非常勤職員って館長さんのことですか。

半澤副館長： そうです。

中村委員長： はい。わかりました。他に何かご意見ございますか？

藤浪委員： いつもたくさん事業を行っているので、大変敬服していますけれども、博物館の中に友の会の他、全部でいくつぐらいサークルがあるのですか？

多田主事： サークルといたしましては5つ。金鈴古文書広場、土器サークル、はたおりサークル、植物サークル、ベルフラワー四季の会です。また、博物館支援ボランティアをやって下さっている方もおります。

藤浪委員： うちの会にも、そういうのに入っている人が何人もいるみたいだからね。

石井館長： 詳細な活動の内容でしたら、副会長の高橋さんがいらっしゃいますから。

中村委員長： ここの友の会は特別。昔から有名。県立中央博物館だって友の会は解散しています。売店などを友の会が行なっていました。最初は景気良くやっていたけど駄目でした。やはり熱心な人たちが年を重ねると、次の代の育成とかが無いと

自然消滅する。ここは良くやっている、ここは昔から有名だもん。ただいずれ、会員の年齢の問題が起きてくるんじゃないですか。

藤浪委員： 菱田先生の資料を燻蒸するのですか。関東港業株式会社千葉営業所はどんな会社ですか。

事務局(稲葉)： 菱田家資料の中から、木更津に関係しているものを大多数ピックアップしてきました。それらの資料をこれから博物館の中でふるい作業をしなければいけないと考えています。そのまま博物館の中に入れて、そこから有象無象の虫が出てきて、博物館の資料に被害を及ぼすので、それを防ぐために最初に殺菌と殺虫をする業者に委託して、それが終わったものを収蔵庫の中に入れます。博物館では、殺虫は出来ませんが、殺菌が出来ないので委託をします。

藤浪委員： この関東港業に委託したのですね。

事務局(稲葉)： そうですね。燻蒸業者です。要は、港に船が入ってきますよね。その時に、そこにある荷物なんかを全部、虫殺しから殺菌から全部する会社です。昔は強力な薬があったのですが、今それを使うと健康に害するので良くないという事で、この関東港業が特許を持っている薬が安全な薬で、虫殺しとか殺菌とか出来るということで、ここの会社を使っております。

藤浪委員： 私も、菱田家と多少縁があります。高校のときも、恩師で西上総の会を作ったという経緯で、交流は亡くなる前までありました。あの資料は、私が見ても変わったものがいっぱいありましたけれど、値打ちのあるものもかなりあります。それで、菱田先生も戦前は八王子中学、前の旧制中学で教鞭をとっておられて、その時に先生は、終戦後八王子の貴重な資料を収集して、持ち帰って来たものもあります。八王子の資料は大変貴重なものであるとのことです。博物館なら連絡とれるでしょうし、それから先生自身も元々湊の生まれであり、ここで長い間、先生され、安房の教頭をされて、千葉の初代図書館長を経て、最後は木更津へ戻って、木更津高校で定年を迎えています。ご自分では、私は木更津が一番もとで自分の湊よりやっぱりこっちの方が顔が広いし、木更津のことは何でも私に聞いてくれれば解かるとかって大変轟々していた人です。あそこの資料は、戦前集めた貴重品も相当あるだろうと思うのです。あれだけの知識がある方だから、どの様にするか私も心配していますが、なんとか活かして陽の目を見させてあげたいなという気がしています。金のすずも一生懸命に肝いつてやったほうがいいと、つくづく感じています。

中村委員長： ここで燻蒸するという事は、寄贈されるということですか。

事務局(稲葉)： はい。

中村委員長： そうすると前みたいに一個人の家が持っている訳じゃなくて、博物館が寄贈などを受けて公開を前提に保管するのですか。

藤浪委員： 今どこの図書館もいっぱい受け取らないでしょ。余程の値打ちのものじゃなきゃ。ですから、本も沢山ありますけど、是非博物館で引き受けてくれるなら、

これ以上のことは無いと思っています。ただむやみに消えちゃうのは残念だから是非この博物館で活かしてもらいたいです。ご子息夫婦も当然そうと思っています。

中村委員長： それは古文書ですか。

事務局(稲葉)： 古文書もかなりありまして、古文書は県の文書館が一括して担当してくれることになっています。それから、郵便局関係の資料は富津市です。

藤浪委員： そうですね。代々郵便局やっていたからね。普通の簡易郵便局じゃないから、そちらのほうの値打ちのものもあります。古文書は古いものも随分あるし、ほかの家の古いものと違って貴重なものも持っていますから是非活かしてやりたいなと思っています。違った値打ちが菱田先生の家の中にはあります。

事務局(稲葉)： 現地調査は7月までに終えたい。現在までに、相当数の資料を持って来ています。

藤浪委員： ここへ(博物館)ですか。

石井館長： その代わり木更津に関係するものとしています。

藤浪委員： 何しろ先生は最初から富津市の市史編集委員長なのです。君津市の編纂委員長やって、袖ヶ浦も最後名前だけですけれども委員長やって、あと私がやるのは木更津市史のなんて豪語していたのです。真剣になって一番肝心な木更津が最後だからねって。

中村委員長： そのほかに何かございますか。また最後に何かあればということで次に移ります。議題1平成28年度事業計画についてよろしくお願いします。

半澤副館長： ～平成28年度事業計画を説明～

それでは、先ほど申しましたが今年度特別展「縄文土器を巡る大いなる旅路」の内容につきまして、井上学芸員からご説明申し上げます。

事務局(井上)： ～特別展「縄文土器を巡る大いなる旅路」の説明～

中村委員長： はい。有り難うございます。それでは何かただ今の説明に対してご意見ご質問ございますか。

縄文の特別展面白いけど大々的に宣伝してください。

事務局(井上)： 早めに宣伝は夏までにしていきたいと思っています。

中村委員長： NHK を利用すると良いです。ニュースに大きく載せると今度文化面と、それを追っかけて新聞が持ち出す。ニュースの中のトピックスでいいから、少しでいいから入ると良いです。

半澤副館長： 市役所の中に記者クラブがありまして、そこの中に新聞記者がおりますので投げ込みまたはチラシを配布したいと思います。

中村委員長： 縄文が今ブームだから、上手に頼んで興味をもたせると乗って来ますよ。これだけじゃなくて、淡水魚だとかミステリアスなもの、そうするといいんだよ。

イボキサゴとか。

石井館長：イボキサゴは、昨年度取りまして、博物館で食しました。

中村委員長：そのほかに何かございますか？ 全体に関して何かございましたら。

大変ですけど大いに頑張ってください。それでは事務局の方にお返しします。

事務局（稲葉）： 本日、委員の皆様には、ご多忙のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。今後とも当館の博物館運営業務につきまして、よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

これをもちまして、平成28年度第1回木更津市郷土博物館 金のすず協議会を閉会いたします。

なお、ただいま当館では、企画展「何だコリャ?～形から入る考古学～」及び新収蔵資料「木更津工業高等専門学校がつくった刀」の展示を開催しておりますので、お時間のある委員の皆様には、これからご案内いたしますので展示室は、階段を降りました2階になりますのでご案内いたします。

議事録署名人 中 村 哲